2016.5.11 支援会員連絡会資料１

平成２７年度保安力向上センターの活動報告

１．「保安力評価システム」の普及促進

（１）保安力評価（センター評価）の実施

１３社２６工場の保安力評価を実施した。

このうち、有償の「センター評価」は８社２１工場である。

（２）新規会員の募集

①支援会員として３社（太陽石油㈱、コスモ石油㈱、ＪＸ日鉱日石エネルギー㈱）が入会され、合計２３社となった。

ただし、次年度に支援会員１社が普及会員に会員種別の変更となる。

②普及会員として８社（㈱クボタ、東洋合成工業㈱、日本ポリエチレン㈱、日本合成化学工業㈱、ＫＨネオケム㈱、ＪＮＣ石油化学㈱、㈱クラレ、太陽日酸㈱）が入会され、合計１２社となった。

（３）保安力評価システムのバージョンアップ

現状の評価システムVer1.5 に改訂時に積み残した課題、保安力評価を通して明らかになった課題ならびに支援会員の要望を反映するため、Ver2.0 を作成するWGを５月立ち上げた。３月末に評価システムＶｅｒ2.0（評価表、評価表の解説、用語の解説　の３点セット）が完成し、センターの共有サイトに公開している。（支援会員はアクセス可能）

主査：下山さん（三井化学㈱）、メンバー：推進委員およびセンター評価員　計１４名

２．保安に係る「技術者・専門家」の育成支援

（１）保安力自己評価員の力量向上

自己評価の精度向上を目的に、自己評価する人を対象に講習会を開催した。化学工業日報社と提携し、６回シリーズのセミナーを開催した。２月から第２回目のセミナーを開催中である。

（２）センター評価員の養成

推進委員のＯＢ等３名がセンター評価の研修を終了して評価員となり、評価員は１５名となった。

３．「保安力に関する情報」の収集と提供

（１）国内外との情報交流と連携の推進

①経済産業省商務流通･保安グループ保安課より、安全工学会が現場保安力の向上に関する調査事業を受託した。（３年計画の最終年度）

本事業は、これまでに収集した安全の取り組みに関わる良好事例の体系化、および

現場保安力評価の試行と評価マニュアルの作成などを行った。

②保安力評価推進委員会を６回開催し、保安力評価に係わる情報交換、保安力評価システム Ver2.0 改訂の議論、他機関の保安力評価システムの紹介等を実施した。

③フランス産業安全文化研究所（ICSI）との連携に向けた契約を準備中である。センターはＩＣＳＩの教育カリキュラムを、ＩＣＳＩはセンターの安全基盤評価をを活用する計画である。

（２）成果報告会等の対外発表

①センター設立２周年を機に、8月３日に成果報告会を開催した。130 名を超える参加者があり、好評であった。

②１２/３，４に開催された安全工学研究発表会において、支援会員３社及びセンターが保安力評価の取り組みについて発表した。